

第2回 A 中学校(仮称)準備委員会 会議録

開会日時 令和7年3月19日(木) 午後 2時00分
閉会日時 令和7年3月19日(木) 午後 3時13分
場 所 佐屋保健センター 2階 会議・研修室

■ 出席委員

委員長	勝田 拓 真
副委員長	舘 昌 晃
東條町総代(市江小学校区)	久野 晴 海
稲葉町総代(佐屋小学校区)	牛田 尚 健
須依町総代(佐屋西小学校区)	水野 寿 里
森川町副総代(立田南部小学校区)	堀田 尚 吾
佐屋中学校学校評議員	福谷 朋 子
立田中学校学校評議員	城 泰 平
立田中学校学校評議員	浅野 季 子
市江小学校 PTA	藤田 哲 朗
佐屋小学校 PTA	西水流真央
佐屋西小学校 PTA	佐藤 英 助
立田南部小学校 PTA	片岡まゆか
公 募 委 員	林 紀 子
公 募 委 員	安田 里 美
公 募 委 員	上田 昌 代
佐屋中学校 校 長	吉次 章 浩
立田中学校 校 長	木下 浩

■ 欠 席 委 員

佐屋中学校学校評議員	横井 直
佐屋中学校 PTA	佐藤 精 一
立田中学校 PTA	菱田 裕 哉
立田北部小学校 PTA	上野 和 也
公 募 委 員	上田 城 弘

■ 事務局

教育委員会

教育部次長

学校教育課長

学校教育課主幹

学校教育課課長補佐

学校教育課課長補佐

学校教育課主査

学校教育課主事

学校教育課主事

飯田裕子

伊藤光

伊藤昭良

佐藤安成

坪井靖史

水谷繁夫

大橋勇輝

祖父江悠里

■ 傍聴者

1名

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 検討部会の報告

(2) 中間報告書（案）について

(3) 今後のスケジュールについて

(4) その他

4. 閉会

(学校教育課長)	本日はご多用の中、定刻までにお越しいただきありがとうございます。 本日、進行を務めさせていただきます、学校教育課長の伊藤です。よろしくお願いいたします。佐屋中学校評議員の横井様、立田北部小学校 PTA の上野様、佐屋中学校 PTA の佐藤精一様、立田中学校 PTA の菱田様、公募委員の上田城弘様につきましては仕事の都合により、欠席の旨、連絡がありましたので報告いたします。また、会議を始めます前に、1 点ご報告がございます。9 月 25 日（水）に開催しました第 1 回準備委員会で、公募委員の安田様へお送りした開催通知の日時が間違っており、ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。それでは、ただ今より、令和 6 年度第 2 回 A 中学校（仮称）準備委員会を始めます。当会議におきましては、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となります。本日は、報道関係者から撮影及び録音の申出があり、許可しておりますのでご承知おきください。なお、本日の傍聴の方につきましては、1 名の方がお見えになっております。傍聴の際には、同規定に基づき、会議終了後の会議資料の返却、また撮影及び録音など会議の進行を妨げる行為を行わないでください。携帯電話・スマートフォンに関しては、電源を切っていただくようお願いいたします。また、本会議では、オブザーバーとして愛西市教育委員会の河野教育長、杉方委員、水谷委員が同席しますので、ここでご報告いたします。最後に、当委員会議事録作成のため、事務局も録音をさせていただきますのでよろしくお願いします。 続きまして、本日配布の会議資料について、ご確認をお願いいたします。配布資料として、次第と、ホチキス止め資料 1－1 から 1－3 「検討部会の報告」資料 2 「中間報告書（案）」資料 3 「スケジュール（案）」となっております。不足がありましたらお知らせください。 《不足なし》 それでは、次第の 2 あいさつ、委員長の勝田 様 よろしくお願いたします。
【委員長】	皆さん、こんにちは。勝田でございます。本日は第 2 回の準備委員会にお越しいただき、誠にありがとうございます。今日は大変寒い日になりまして、小学校の卒業式ということで PTA の皆様や地域の皆様、午前中はお疲れ様でした。おめでとうございます。寒い日に子どもたち大丈夫だったかなと心配しておりましたが、無事行われたと先ほど伺いました。私の勤務大学もちょうど昨日が卒業式でございまして、女子大学ですの

	でほとんどの学生が袴で出席しておりました。朝から寒いと言っておりましたが、本学校の学生も愛西市で小学校や中学校の先生や、保育園、幼稚園の先生になるかもしれません。その際はどうぞよろしくお願いいたします。それから、このお忙しい2月、3月に部会を開催していただきまして、ありがとうございました。今日は検討部会の報告をいただくということで、各委員にもお世話になりますが、よろしくお願いいたします。また、2月10日に瀬戸市立にじの丘学園への視察、私も同行させていただきました。ありがとうございました。新設校として、小中一貫校として7小中学校を統合したということで、規模は大きいですが、よい教育が進められているかと思います。ただやはり、予想しなかった課題も出てきているかと思うので、そういった部分でも参考になる部分や疑問などがあれば、出していただければと思います。本日も忌憚のないご意見を活発に出していただきますよう、よろしくお願いいたします。
(学校教育課長)	ありがとうございました。続きまして、次第の3議事に移ります。このからの進行は、勝田委員長にお願いいたします。
【委員長】	それでは、次第の3 議事に入ります。(1) 検討部会の報告について、2月に教育・学校運営部会、施設・通学路部会、地域課題部会が開催されておりますので、お願いしたいと存じます。はじめに教育・学校運営部会ですが、本日部会長の横井さんが仕事の都合で欠席との事でしたので、事務局から報告をお願いします。
(事務局)	学校教育課の水谷と申します。私の方から報告をさせていただきます。着座にて失礼いたします。去る2月13日に教育・学校運営部会を開催いたしました。次第の内容につきましては、この後ご報告いただく2つの部会と同様になりますが、初めに部会長・副部会長の選任をさせていただき、2月10日に実施されましたにじの丘学園の視察にご参加いただいた委員の皆様よりご感想をいただいております。その後、各部会の中で検討事項について話し合いをさせていただきましたが、教育・学校運営部会につきましては、学校を運営する上で必要になる事項について、ワークショップ形式で部会員の皆様より様々なご意見をいただきました。それでは、資料1-1をご覧ください。部会員の皆様から出いただいた意見がこのようなものとなっております。今後、検討部会の中で検討すべき項目ということで、挙げていただいております。学校運営につきましては、学校の先生の数、防災時の手引等、制服の統一、制服

	につきましては、市内ブレザータイプで統一となり、生徒考案のワッペンがついておりますので、それをどうするかといったご意見をいただいております。その他、PTA の組織関係や学校祭を始め、年間行事計画の中で同じ名称の行事でも内容が中学校ごとで異なってくるということを教務主任の先生よりお聞きしました。そういった部分でもすり合わせが必要になってくると意見を伺っております。それ以外でも、学校運営機構や時間割等の調整が必要になってくるというお話も伺っております。その他、宿泊行事の場所おさえ等でも調整が必要になってくるのではないかとということでご意見を伺っております。教育についてですが、教材や進路指導の統一が必要、まず初めに教育方針を決めるべきではないかということでご意見をいただいております。1枚めくっていただき裏面になりますが、にじの丘学園では校舎の中央にライブラリースペース、図書館がありまして、その視察を踏まえての意見かと思いますが、にじの丘学園のような施設の中心にある図書室はよいが、中学生が活用するイメージがつかないとして、図書室のあり方について検討してはどうかというご意見をいただいております。その他、相談室について、にじの丘学園では相談室が10部屋ほどあるが、今の段階で足りないということでしたので、相談室のあり方についても検討が必要になってくるのではないかとことでした。その他、生徒会、部活動について、一番の課題となってくると思われる通学について、現在佐屋中学校においても、駐輪場のスペースが十分に確保できないため、徒歩通学をお願いしている状況でございます。そこに立田中学校の生徒を受け入れるということになりますと、徒歩通学、自転車通学、バス通学の検討が必要になってくるというご意見をいただいております。その他、地域との繋がりについてということで、立田中学校では農業体験等を実施しており、愛西市ならではのものを続けていってほしいということをお伺いしました。あとはご覧のとおり、事前交流ということで、子どもたち、教職員の先生方それぞれの交流が必要になってくるというご意見をいただいております。以上でございます。
【委員長】	ありがとうございました。続いて、施設・通学路部会について、城部会長さんよろしく願いいたします。
(委員)	まず、学校施設についてですが、既設の学校を利用するのか、新設するのか、改修して使うのか、そういったことは考えず、決めていない状態で意見が出てきている状態です。そちらもいずれは検討課題になるかと思いますが、そういったことは考えずにどういった検討事項があるのか

	ということで意見を挙げております。まず施設についてですが、まずは何階建てか、教室配置、特別教室の数の検討、更衣室の設置を検討、学校施設の階によってはエレベーターの設置、今も整備されているかと思いますが、Wi-fi 環境の整備、例えば既設の建物を使うのであれば LED 化、洋式トイレ、多目的トイレ、プールを作るのかどうか、文化系部活動、クラブ活動全般の部屋割り、図書室蔵書の調整、備品の調整、液状化対策や津波の避難場所という意見が出ました。次に通学についてですが、合併することでやはり遠くなってしまうお子さんがどうやって通うのかという所が興味深いところで、そこに関する意見が多く出ております。スクールバスの検討、徒歩・自転車・バスの線引き、バス通学になった時に集合場所、通学規則、駐輪場をどこにするのか、通学路を指定するのか自由にするのか、交通量の多い部分のピックアップ、危険個所の認知、通学路の交通指導員を置くのかどうか、送り迎えを親御さんをお願いするのはどうか、ルール決め、スマホを持たせるのかどうか、裏面にいきまして、実際に始まる前には通学体験をさせてみるのはどうか。その他としては、危機管理マニュアル、災害時の対応、AI 教材を使用するのかどうか、といった意見が出ました。来年度以降、こういったことを検討したいと思います。ありがとうございました。
【委員長】	ありがとうございました。最後に、地域課題部会について、浅野部会長さんよろしく願いいたします。
(委員)	まずは地域の学校の繋がりについて、学校行事と地域行事の連携、行事に地域の方が参加するのはどうか、地域の学習・行事・お祭りをどうするのか。次に防災について、防災機能の強化、災害時の対応、トイレも含めどのような災害に強い学校にしていくかということが話し合われました。次に防災強化、街路灯の防犯について、夜道が暗いというご意見が出ましたので、街路灯を増やすのはどうかといったご意見が出ました。次に跡地利用についてです。現校舎の跡地利用について、瀬戸の方でも跡地利用についてはお話がありましたが、愛西市がそのまま同じようなことができるかということ、そうではないかなというご意見も出まして、愛西市ならでは跡地利用ができるとよいなというご意見も出ました。通学についてです。生徒の通学手段、バス通学なのか、バス停までは自転車で通学するのか、そういった点を話し合っていきたいと思います。裏面をご覧ください。教育・学校運営について、校歌がそれぞれあるかと思いますが、それをどうしていくのか。また、部活動をどうしていくのかという話が出ました。学校施設についてですが、ウォータークーラ

	一の設置をお願いしたいという話が出ました。水筒のお茶が無くなった際に、それを言える生徒ばかりではないので、ウォータークーラーがあるとよいなというご意見が出ました。その他は、人口が減っているため、少子化に対する対策はどうか。瀬戸の方では、子どもの数が増えていったという話がありましたが、愛西市ではどうなるのかということを今後話し合っていければと思います。ありがとうございます。
【委員長】	ありがとうございました。今回は、各部会それぞれの枠にとらわれず、自由な発想でご意見をいただいたと事務局から伺っていますが、それぞれの報告を聞いて、何かお気づきの点、ご質問などありましたらご意見をお願いいたします。 《意見なし》
【委員長】	ご質問等ないようですので、続いて、（２）中間報告書（案）について、事務局より説明してください。
（事務局）	＜事務局説明＞
【委員長】	ただいま事務局から、中間報告書（案）が示されましたが、委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。
（委員）	議事（１）の検討部会の報告の話になってしまいますが、地域課題部会での意見の中に「地域人材の確保 日本福祉大学との繋がり」とあります。どういった意味でしょうか。
（事務局）	参考資料として南知多町の検討事項の資料を付けさせていただきました。その中にあった文言を意見として出されたということかと思いますが、実際には愛西市には当てはまりませんので、特定の大学を指定するのではなく、検討ができるような所があれば検討していくということをお願いしたいと思います。
【委員長】	その他よろしいでしょうか。
（委員）	にじの丘学園の視察で思ったのは、やはり地域の人たちが図書室に入るとか、地域の方たちとの話し合いの場があったのがよいと思いましたので、もう少し地域の高齢者の方、子どもについても話し合いの場がある

	ことで風通しがよくなるのではないかと思います。そういったことも期待したいと思いましたが、その辺りを検討していただきたいと思います。
【委員長】	貴重なご意見ありがとうございます。事務局より回答をお願いします。
(事務局)	ご意見ありがとうございます。A 中学校（仮称）準備委員会以外に、施策 1 の佐屋小学校準備委員会も同時に進行しておりまして、そちらの中でも施設を触るのであれば、地域の方の意見や子どもたち、保護者の方、なるべく多くの意見を聞いた方がよいのではないかとのご意見をいただいております。A 中学校（仮称）準備委員会に関しても、現在施設を触る予定をしておりますので、施設を大々的に修繕するのか、新しく建てるのかという部分は何も決まっておりますが、施設の整備の仕方が具体的になりましたら、ワークショップなどを実施し、なるべく多くの方のご意見をいただく機会が作れればと思っております。現状、具体的には決まっておりますが、いただいた意見に対しては実現できるように考えていきたいと思っております。
【委員長】	ありがとうございます。今後に期待してということでよろしく願いいたします。その他、よろしいでしょうか。 《その他意見なし》
【委員長】	それでは、(3) 今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	<事務局説明>
【委員長】	ただいま事務局から、令和 7 年度のスケジュール案が示されましたが、委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。
(委員)	今の説明を伺っていると、新しい学校ができるのは、早くて令和 13 年度くらいになるのでしょうか。
【委員長】	では、事務局からご回答をお願いします。
(学校教育課長)	現在、佐屋小学校の老朽化対策も進めておりまして、そちらの関係もご

	ざいますので、もちろん改築か改修というのは健全度調査を行って、その後に、資料に記載のあります基本構想、基本計画、基本設計、実施設計を行い、その後に工期が3年程度かかってきます。かなり先のことになりますので、最短で何年ということは申し上げにくいということになります。申し訳ございません。
(委員)	その話を聞くと、検討事項にあった細かいスケジュールがあまりにも遠すぎると思います。現状部活動など、様々なことが変化していく中で、今話し合うべき内容をもう少し整理された方がよいのではないかと思います。
【委員長】	ご意見ありがとうございます。今いただいたご意見を参考にさせていただきたいと思います。ちなみに瀬戸市のにじの丘学園については、6年間校長を務めさせていただき、その後開校となっております。その6年間で計画が出来ていたかというともっと前からですので、やはり時間はかかってくるかと思います。その他よろしいでしょうか。
(委員)	確認なのですが、先ほど建物の話が出たかと思います。耐震性を見て、新たに作り直すのか、補強していくのかはこの1年で決めるということですが、そうすると、もとは活かして増築して新たな校舎とするということもあり得るということですよ。
(事務局)	耐震性については、現状の校舎でもあります。ただ、コンクリートの部分や建物の骨になっている部分が弱くなっていると、その建物は使い続けることは難しくなってきます。その辺りを調査し、少し手を入れれば、何十年ももつような建物だという結果ができれば、悪い部分を直し、校舎の中を今求められている学習ができるような環境に整えて、大規模な改修を行って施設を使うということはあると考えております。
(委員)	基礎を活かしてそのまま使うかもしれないということで、例えば教室数や建物を増やすということもあるということでしょうか。
(事務局)	まだ具体的に調査が出来ていない状態ですので難しいですが、可能性はあると考えております。
(委員)	何が言いたかったかということ、佐屋中学校の住所は確定だが、建物がどうなるかは分からないと言われたのですが、そうすると敷地面積は今の

	佐屋中学校の面積で確定ということで工事を考えられていくのでしょうか。
(事務局)	現在決まっているのは場所だけなのですが、その後の校舎の拡大などは具体的に決まっておりません。あくまでも今の佐屋中学校と立田中学校の校区を1つとした学校が今の佐屋中学校の場所にできるという部分だけが決まっております。校舎の拡大等は現状決まっておりません。
(委員)	とても長期の建設になるかとは思いますが。今現在、和式トイレが多く、健康を害しているということも聞いているので、今現在ある校舎に対する予算をしっかりとつけていただきつつ、新しい学校の建設を進めていくということによろしいでしょうか。
(事務局)	今ある校舎に対する修繕に関しては、もちろん行ってまいります。子どもたちが安全に学校生活を送れる環境は必須ですので、他の学校と同様に行ってまいりたいと思います。ただ、トイレの改修については、全ての学校に対してですが、児童生徒数に対する洋式トイレの数の基準に則って事業を進めてまいりました。現時点において、その基準、50人に当たり3台という基準ですが、佐屋中学校は満たされておりますので、新たに洋式トイレを作るということは現在考えておりません。それ以外の空調やバリアフリー、LEDなどを順次進めていっている状態でございます。
(委員)	体調を崩すということも聞いておりますし、今洋式のトイレが当たり前ということもありますので、人数当たりの台数ではなく、配慮をお願いしたいと思います。
【委員長】	今後の検討をお願いしたいと思います。その他よろしいでしょうか。
(委員)	子どもがいる世代からすると、再編時期がいつ頃になるのかという部分が一番気になります。自分の子どもが合併時期にかかるのかどうか気になります。何度も質問されているかと思いますが、分かっているかしやるかと思いますが、このまま話を進めても、地域は不安を抱えている状態になるかと思いますが。いつも学校経由でチラシをいただいたり、回覧板に入れていただいたりするものを見ていますが、いつ頃になるのか、あのチラシでは分からないですし、もちろん決まっていないのだと思いますが、もう少し市民を安心させられるような周知の仕方をしてい

	ただけると助かるし、反対も出てこないと思います。難しいかと思いますが。佐屋小学校の老朽化対策をされているかと思いますが、その周知を見ると、立田の小学校はやってくれているのかと思ってしまいます。もちろんやっただいていてるかと思いますが。中学校の合併が出来ていないのに、立田の小学校の合併も何年後になるのだろうかと思います。佐屋小学校の老朽化対策を周知する際は、他の小学校の対策についても発信していただけると保護者は安心するかと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。
【委員長】	地域の方に少しでも安心していただけるように、発信をお願いしたいと思います。他よろしいでしょうか。 《その他意見なし》
【委員長】	それでは、（３）その他について事務局から何かありますでしょうか。
（事務局）	貴重なご意見ありがとうございました。これから事務を進めていく上で、取り入れて進めてまいりたいと思います。その他ですが、会議録の承認について、ご審議をお願いしたいと思います。本来であれば、会議録の承認について、皆様の承認をいただかなくてはいけなかったのですが、失念をしております、第１回の会議に諮っておりませんでした。会議録について、本来であれば委員の皆様の署名をいただかなくてはならないかと思いますが、皆様に署名をいただきますと、時間もかかりますし、何より皆様全員のお手間を取らせてしまいます。議事録の確認は委員の皆様全員にお願いするとしまして、委員長と副委員長のお二人に署名をいただくことで、委員の皆様のご承認をいただいたということで取り扱わせていただいております。委員の皆様のご承認をいただくことがまず１点目です。委員のご発言は、全て個人の名前ではなく、「委員」と表記させていただいて、委員長と副委員長さんにつきましては、「委員長」、「副委員長」、事務局につきましては「事務局」と表記させていただいております。また、若干の表現、内容が変わらない程度に修正させていただいております。その３点について、ご承認いただければと思います。よろしくお願いいたします。
【委員長】	今の３点について、いかがでしょうか。 《異議なし》

(事務局)	ありがとうございます。本日の議事録もそのようにまとめさせていただきますので、よろしくお願いいたします。もう一点ですが、来年度の委員に関してでございます。準備委員会の設置要綱に、来年度になり、今就かれている役職を降りられる場合は委員を辞したものとさせていただきます、新たに新しく役職に就かれた方に委員をお願いするとさせていただきますので、その流れでお願いしたいと思います。今年度をもって委員を辞する方もおられるかと思いますが、来年度新たな委員を事務局でお願いしたいと思いますので、その点についてもご承諾いただければと思います。
【委員長】	事務局より確認がありましたが、今年度をもって、委員を辞する方にはおかれましては、準備委員会にご協力いただきましてありがとうございます。本会議が最後となってしまいますので、ご要望でも結構ですので一言ずついただきたいと思います。
(委員)	資料の中でいいなと思ったのが、GPS を使って居場所が分かるというのは素晴らしいと思いましたので、是非検討をお願いしたいと思います。
(委員)	来年度も引き続き委員をやらせていただきますが、私の卒業した中学校は佐屋中学校でした。ぼーっと3年過ぎてしまいましたが、この資料を読むと、今の少子高齢化、学校の統廃合が迫ってきているのだなと身に染みて感じました。中学校生活は何をやっていたんだろうと思いますが、部活動が活発にできるような、沢山の生徒がいるような時期でしたので、体育の授業で1学年でサッカーもできないような学級ではいけないのではないかと思います。以上です。
(委員)	特に大丈夫です。
(委員)	前向きな意見等を来年度の役員さんに引き継いでいきたいと思います。ありがとうございました。
(委員)	自分が中学生だった頃を思うと、学校の施設などへの悩みもなく楽しく通っていたなと思います。やはり、大人の方、教育関係者、地域の方が配慮をして、子どもたちが元気に通えるように見守ってくれていたんだなと思うので、これからの時代に通っていく子どもさんが元気に通えるように、学校づくりができればいいなと思います。微力ながら頑張らせ

	ていただきます。よろしくお願いします。
(委員)	私は施設・通学路部会なのですが、皆さんの意見を聞いて、一体いつになるのか、気になりました。調査が来年度あり、8年度何をするのか間が空いており、9年度に基本構想・基本設計等となると、今話し合っていることも基本構想や基本設計の辺りでまた変わってしまうのではないかと思います。建物については、耐震性がもともとあるものなのか、耐震化されたのか分かりませんが、そういったことを考えると、新しくしてしまった方がよいのではないかと思います。結局今の耐震工事は、もつというよりは逃げる時間を稼ぐというものなのかと思いますので、そういったことも考えて欲しいと思います。どんどん状況が変わっていくので、スピード感をもってやって欲しいと思います。自分も意見を出して来年度も頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
(委員)	私も長くやっているからよい意見が出るというわけではなく、スピード感をもってやるべきだと思います。隣にも中高一貫校が出来ている中、愛西市に何か魅力があるのか、ここに残って何か魅力があるのか、中高一貫校に行った方がよいのではないかという意見が出るよりも、残った方が魅力があるよねと言えるような学校づくりができるとよいな、そういう地域になったらいいなと思い、この会に参加させていただいております。何かお手伝いが出来たらいいなと思っております。よろしくお願いいたします。
(委員)	私は来年1年ありますので、また会議には参加させていただきます。今日感じたのは、洋式トイレの話ですが、新しい学校になったら綺麗になるのが当たり前だと思っていたので、びっくりしました。また、スピード感の話も僕はそうだなと思いました。来年度調査をされて、大枠が決まるのがいつなのかが見えてこなくて、そうなると言えることが無いと思います。もちろん準備委員会なのでそれでしかるべきなのかもしれませんが、皆さん前向きな意見を出すために集まっているので、よりよい会議になればいいなと思います。
【副委員長】	こういった場に出席できたことを有難く思っております。子どもたちのことを理解して、長い歳月で考えて出来るだけよい方向に検討していただきたいと思います。ありがとうございました。

(委員)	佐屋中学校の件だけでなく、佐屋小学校の老朽化対策も進んでいないという話を PTA の間で聞いておりますので、もっとスピード感をもってやるべきなのではないかと思います。ただ、決める時はみんなで話し合っていないと愛西市がよいものにならないと思いますし、愛西市の学校がこうなるんだということを子どもたちにも知らせて、地域だけでなく子どもたちとも関わりをもってやっていければと思います。よろしくお願いします。
(委員)	今年度で会長職を降りますので、最後の会議になってしまいますが、子どもたちのよりよい環境ということで、今後検討を進めていただければと思います。ありがとうございました。
(委員)	私個人のことですが、5人の子がおりまして当事者の問題であります。参加して色々思うことはあるのですが、最終的に愛西市の小中学校に行ってよかったなという学校をつくるのがベストだと思います。子どもたちがこの地に残って、自分の子どもたちもあの学校に行かせたいと思うような学校にすることで、地域の子どもを増やす事に繋がられないだろうかと思っております。津島中学校の受験が始まり、言い方が正しいか分かりませんが、地域の子たちが吸い上げられるようで、親も切実な思いでいます。佐屋中学校の位置に通うとなると、津島中学校に行った方が近いので、受験してまで行かなくても統合した学校で十分だよねと思ってもらえるような学校ができればと思い、来年度も参加させていただきます。よろしくお願いいたします。
(委員)	私自身、八開中学校で育ったものですから、その時は良かったとしても、大人になってやはり経験が少なかったなと思いますので、その辺りをなんとかしたいなと思っております。早く統合する事は難しいのであればそれまでのことも考えていけるとよいなと思います。例えば、学校の選択制、より近いところが行けるなどの、選択肢があればよいのではないかと思います。統合後にも、人数が減ってくることも考えられますので、後のこともしっかり考えていけるとよいのではないかと思います。
(委員)	今現在通っている小学生、中学生も満足のいく楽しい学校になってほしい、新しい学校になったら、それはそれで楽しい学校生活を送って、少子高齢化の愛西市が楽しい、よい市になってほしいと切に願っております。そのためにまた来年度も参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

(委員)	うちの子は3人おまして、真ん中の子は小学校でクラスに10人しかいません。大丈夫なのかなと思っていましたが、先生もすごくよい方ですごく楽しく仲よく通っています。なので、少なくともよいのではないかと思う気持ちも半分あります。あとの半分は、立田地区は小学校1クラス、中学校は2クラスのところもありますが、やはり1クラスだと逃げ場が無くて、何かあった時に2学期から行こうと思っても行けないんですよね。相手の子は気にしなくても、その子が気にしてしまうと、同じ教室には入りにくくなってしまいますよね。ということがこれから先、再編が10年先となってしまうと、中学校も1クラスしかなくなってしまい、中学校でも同じ現象が起きると、保護者の方は違う中学校に通わせようと思ってしまうと思います。スピード感が持てないのはしょうがないのですが、少子化で困っているのは今の小学生、中学生も一緒なんです。子どもの視線、気持ちを忘れずに、同じ愛西市の子どもたちを救えないのはおかしいかと思いますので、スピード感をもってやっていければと思っています。来年度も意見させていただきます。よろしくお願いいたします。
(委員)	今日、会議に出させていただいて、資料1-1から1-3を見ると、検討部会で本当に細かい部分まで検討していただいているんだなと思い、感心して見ておりました。いつ頃になるのか分からないということでしたが、例えば、今すぐにA中学校（仮称）となった場合、どうなるのかなと考えておりました。1学年6クラス、立田出身の子が8人から9人のところに、佐屋出身の子が26、7人となるのではないかと思います。立田の子が肩身が狭い思いをしないような学校運営をしていかなければならないなと思っておりました。部活動について、突然3年生同士でくっついて、メンバー編成どうするのかとか、1、2年生での活動はそれぞれの学校で行っているのか、卒業アルバムの写真はどうなるのかな、そんなことを考えておりました。近づいてきたら、そういったことの検討が大変になってくるかと思いますが、また、今後の会議で検討できればと思っています。よろしくお願いいたします。
(委員)	受験というと高校のイメージでしたが、最近は中学校から選ぶという時代になったなと思います。立田中学校の周りに私立と県立が立て続けにでき、今後立田中学校を卒業した子、私立または県立の中学校を卒業した子という部分を心配されている親御さんもいらっしゃるのではないかと思います。地域の方や子どもたちの心に残るような母校となっ

【委員長】 (学校教育課長)	ていってほしいと思っておりますので、またよろしくお願いいたします。 委員の皆様ありがとうございます。以上で議事を終わります。 ありがとうございました。これを持ちまして、第2回 A 中学校（仮称）準備委員会を閉じさせていただきます。今年度はありがとうございました。
------------------------------	--